

第2期
佐倉市子ども・子育て支援事業計画に係る
ニーズ調査報告書

平成31年3月

佐倉市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査概要	3
3	回収状況	3
4	報告書の見方	4
II	就学前児童保護者の調査結果	5
1	住まいの地域について	7
2	子どもと家族の状況について	8
3	子どもの育ちをめぐる環境について	13
4	保護者の働き方について	28
5	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	38
6	地域子育て支援拠点事業の利用状況について	69
7	子どもの土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	82
8	子どもの病気の際の対応について	88
9	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	93
10	小学校就学後の放課後の過ごし方について	102
11	職場の両立支援制度について	110
12	住まいの地域における子育ての環境や支援について	124
III	小学生児童保護者の調査結果	137
1	住まいの地域について	139
2	子どもと家族の状況について	140
3	子どもの育ちをめぐる環境について	144
4	保護者の働き方について	157
5	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	166
6	地域子育て支援拠点事業の利用状況について	167
7	子どもの病気の際の対応について	178
8	小学校就学後の放課後の過ごし方について	183
9	職場の両立支援制度について	199
10	家庭の経済状況等について	211
11	住まいの地域における子育ての環境や支援について	219

I 調査の概要

1 調査の目的

佐倉市では、平成 27 年 3 月に「佐倉市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付・事業を実施してきました。この計画が平成 31 年度で終了するため、平成 32 年度からの新たな事業計画の策定に向けて、市民の教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や今後の利用希望を把握し、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、本調査を実施しました。

2 調査概要

(1) 調査地域

佐倉市内全域

(2) 調査対象者

①就学前の子どもを持つ保護者・・・1,000 人

②小学生の児童を持つ保護者・・・1,000 人

(3) 抽出方法

住民基本台帳より就学前児童 1,000 人、小学生 1,000 人の合計 2,000 人を無作為抽出

(4) 調査方法

郵送配布・郵送回収による無記名郵送方式

(ハガキによるお礼を兼ねた督促状を 1 回送付)

(5) 調査期間

平成 30 年 12 月 12 日～12 月 28 日 (平成 31 年 1 月 31 日到着分まで集計)

3 回収状況

	配布数 (A)	回収数 (B)	有効回収数 (C)	有効回収率 (C/A)
就学前児童保護者	1,000	545	544	54.4%
小学生児童保護者	1,000	516	516	51.6%
合計	2,000	1,061	1,060	53.0%

4 報告書の見方

- ① 集計した数値 (%) は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が 1 つだけの場合、選択肢の数値 (%) をすべて合計しても、100.0% にならない場合があります。
- ② 回答者数を分母として割合 (%) を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100.0% を超えます。
- ③ 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が % (少数第 1 位まで) を表示しています。
- ④ 表に「-」と表示してあるのは回答者がいなかった場合、「*」と表示してあるのは対象者がいなかった場合です。
- ⑤ クロス集計では、内閣府「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」(平成 26 年 1 月) で示されている「家庭類型の分類」をもとに、「現在の家庭類型」の集計結果を掲載したページがあります。家庭類型の種類は、タイプ A からタイプ F の 8 種類となっています (下表参照)。

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプ A	ひとり親家庭
タイプ B	フルタイム×フルタイム
タイプ C	フルタイム×パートタイム (就労時間：月 120 時間以上+52 時間～120 時間の一部 [※])
タイプ C'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満+52 時間～120 時間の一部 [※])
タイプ D	専業主婦 (夫)
タイプ E	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月 120 時間以上+52 時間～120 時間の一部 [※])
タイプ E'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月 52 時間未満+52 時間～120 時間の一部 [※])
タイプ F	無業×無業

※タイプ C とタイプ C'、タイプ E とタイプ E' の区分について

- ・ 3～5 歳：平日定期的に利用している教育・保育の事業について、「幼稚園」を利用している人のうち、今後の利用希望で「認可保育所」または「認定こども園」のいずれも選択していない人をタイプ C' またはタイプ E' とし、それ以外をタイプ C またはタイプ E としています。
- ・ 0～2 歳：定期的な教育・保育の事業利用について、「保育」の事業を利用している人、及び現在「保育」の事業を利用していない人のうち、今後の利用希望で「保育」の事業を希望した人をタイプ C またはタイプ E とし、それ以外をタイプ C' またはタイプ E' としています。

- ⑥ 各回答において、回答者が少数である場合の比率については、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値 (本調査では分母となる回答者数が 30 未満のもの) として掲載しています。
- ⑦ アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表の中では要約して表記している場合があります。

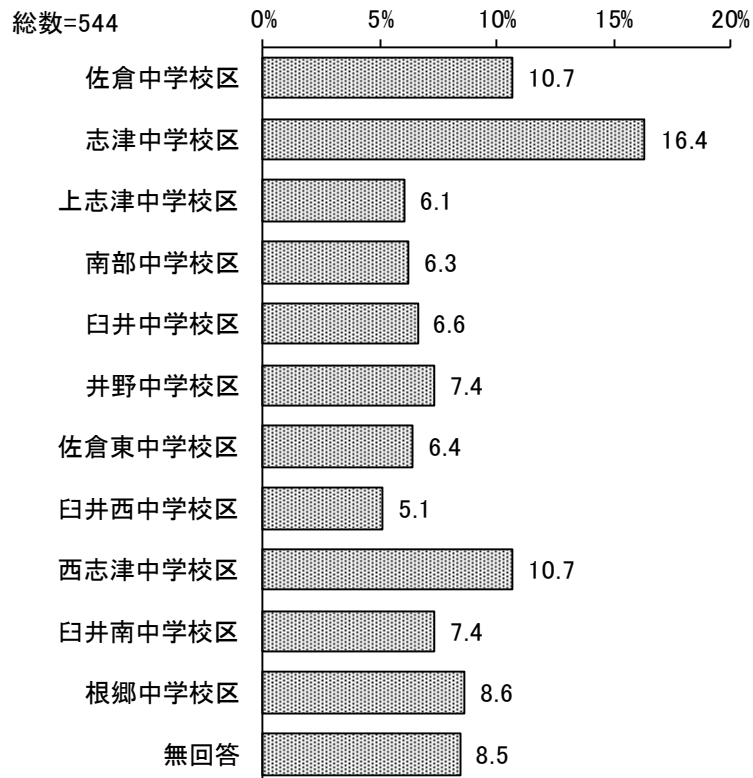
II 就学前児童保護者の調査結果

1 住まいの地域について

(1) 居住地区（中学校区）

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

「志津中学校区」が16.4%で最も多く、次いで「佐倉中学校区」と「西志津中学校区」がそれぞれ10.7%となっています。

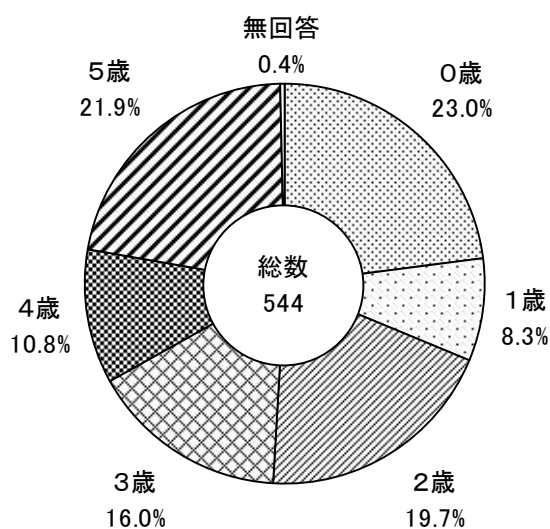


2 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

「0歳」が23.0%で最も多く、次いで「5歳」が21.9%、「2歳」が19.7%となっています。



※ この設問では子どもの生年月をうかがいましたが、この報告書では以下の年齢区分に従って集計しています。

年齢		対象年齢該当生年月
就学前児童	0歳	平成29年4月～平成30年11月
	1歳	平成28年4月～平成29年3月
	2歳	平成27年4月～平成28年3月
	3歳	平成26年4月～平成27年3月
	4歳	平成25年4月～平成26年3月
	5歳	平成24年4月～平成25年3月